

# 日本は天皇を

## 中心とした神の国である

お上（政府）が中心となり、世界で日本だけが持っている国権の発動と認めない九条を改悪し、他国と同じ国権の発動を認め、戦争の出来る国に暴走していく国になつてしまふ

危機に民衆は目覚めて下さい。

平成元年二月二十四日、昭和天皇の大喪の礼をNHK総合テレビでお見送りしていたとき、天界で執り行われていた式典を地上に映し、私加古藤市に「九条不戦・神々との誓い」の画像を観せ御啓示を戴いて、私はそれを基に御啓示に従い旅をし、現地に立ち確かめて伝えることを続け、今年二十六年目を迎えました。

この地域は神倭伊波礼比毘古尊（神武天皇）が筑紫の国から日出ずる日の本大和の国に進出した時に、ニギハヤヒ尊の<sup>のみこと</sup>大和政権があつた場所でした。

神倭伊波礼比毘古尊（神武天皇）は、熊野大斎原（熊野大社）の皇祖<sup>こうそ</sup>皇宗の

御霊魂<sup>みたま</sup>処（世襲最後のイザナギ尊御夫妻・ハヤスサノオ尊御夫妻・アマテルカミ尊御夫妻の<sup>ひち</sup>墓処）を質に取り談判してきたとき、このままでは大和の国の国体の名譽が損

なわれてしまふ事態に差し至り、戦争に撃つて出れば伊勢の神「天照皇大御神」の御神聖「民草和氣の倫理」に背く事に成り、何方が勝つても天皇家とは成れず、王家と成ってしまう。と悩まれたニギハヤヒ尊（與謝身天皇は、朕一人耐え忍び我慢をして無血を以つて「政權譲渡國譲り」をすれば、伊勢の神「民草和氣の倫理」を守り貫き通す事ができ、神倭伊波礼比叺古尊（神武天皇）を、アマテル政權（天照派・戦争しない派）の歴代の一天皇として迎え入れれば、與謝身天皇家（神に許し與られた天皇家）を尊立継承し続けさせる事が出来ると御決断になられ、その後、尾張の国、現在の愛知県一宮市今伊勢にあり、ます酒見（逆身）神社の地で詫び住まいをしたのです。

その尾張の国に住む私が講演会を依頼された当日は、列島を豪雪で冷やしたのには神仕組みを計られたのではないでしようか・

せいめいいう だ  
 生命生み出しの神【伊勢（異性が平等に生きる成り）の神】と

よさのみ  
 與謝身昭和天皇（神がゆるし与えた天皇）の

おおみごころ  
 大御意志としての日本国憲法第九条

九条は人類の宝・地球の宝

## 日本国憲法第一条と第九条

第一条〔天皇の地位・国民の主権〕 天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。

第九条〔戦争の放棄、軍備及び交戦権の否認〕

- ① 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、**国権の発動たる戦争と 武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。**

- ② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、

**これを保持しない。 国の交戦権は、これを認めない。**

昭和天皇は先の大戦で亡くなった靖国の御靈魂の「二度と戦争のない国が欲しい、このような戦争で肉親と悲しい別れをするのは我らだけで沢山だ。」と、**という思いにお気づきになり、憲法第九条にその精神をお表しになりました。**

憲法第九条はアメリカから押し付けられた憲法だと言われていますが、昭和天皇は戦争で亡くなった総ての御靈魂のお声をお聞きに成り、その御靈魂の声を無駄にすることなく、**また靖国の御靈魂達がもつとも安らぐことの出来る方法として、不戦の誓いを形として現したものが憲法第九条なのです。**

與謝身天皇として、この地球上の総ての生き物（植物、動物、人間の世界）の健やかな繁栄を願うべき存在でありながら、国民を戦争に赴かせた責を痛感し、

その結果として多くの人々の命を奪われたことに胸が張り裂けんばかりのお悲しみを感ぜられ、二度とこのような事が起らぬ世の中になって欲しいという願いが込められているのが日本国憲法第九条なのです。

もとより戦争の責任は天皇お一人にあるものではありません。明治以来日本を戦争に駆り立ててきた明治政府の権力者たち、その権力者に従って戦争を行ってきた軍部、その軍部の暴走を止めることが出来なかった国民にもその責任はあります。日本国民全体に責任があり、その責任を明確にするため日本はアメリカによる原子爆弾の投下の憂き目にあいました。

日本が再びこのような事態に見舞われたとしたら、先の大戦で亡くなった人々の霊魂が何と思うでしょうか。「われわれの死は無駄死にでしかなかった」と思うでしょうか。

交通事故の被害者の肉親や犯罪被害者の肉親が決まって言うことは、「このような悲しい思いをするのは私たちだけで沢山です。二度とこのような悲しい思

いをする方が出ない事を望みます」と言う言葉です。戦争被害者（殉難死）本人の思いも同じでしょう。だが家族関係者はその深い思いは解っているでしょうか。私たちは先の大戦で多くの人々の犠牲と引き換えにその思いを学んだのです。

昭和天皇は日本国が原爆を製造する杉山元帥を呼び、厳しくお諫めになりました。原爆はただ単に人を殺すだけでなく、生命界（植物、動物、人間）の遺伝子を破壊するからです。遺伝子が破壊されるとこの地球上の全ての生き物が生きて行けなくなります。それはこの生命界の滅亡を意味することになります。これでは神が何のためにこの生命界をお造りになったのか、その意味そのものが失われてしまいます。與謝身天皇としての譲ることの出来ない最後の一線だったのです。このように與謝身天皇としての魂をお失いになってはいなかった昭和天皇が切にお望みになられたのは、先の大戦を反省し二度とこのような生命界の危機を招くような事態を起こさないことでした。

明治政府は諸外国から国を護る為まもに富国強兵策をとり、強力な軍隊をつくりあげました。その強力な軍隊が日本の国を亡ぼしてしまった歴史を振り返ると、**国を護るものまもは軍備ではないことことに気付かなければなりません。世界の国々と仲良くすることことこそが最大の国防なのです。**昭和天皇はその思いを憲法第九条に託したのです。終戦当時、昭和天皇こそが最も不戦の思いを強く願われた方だったのです。そのため常に世界平和を謳うたわれ、外交の世界で、世界の国々の平和に貢献こうけんされたのでございます。

その**昭和天皇のお気持ち**をお受けとめになられた、人間の御先祖・初代イザナのみこと尊のみこと（男性）と初代イザナミ命のみこと（女性）は、天上界の神々とご相談になられ、**憲法第一条に天皇の地位を保全され 憲法第九条に不戦の誓いを形としてお現あらわしになりました。**

また、神は、最も不戦の精神をお持ちであった孝明天皇の御靈魂みたまを秋篠宮家よみがえに蘇よみがえらせることを決定なさったのでした（平成十八年九月六日**悠仁親王誕生**）。それはこの平成の時代、日本のリーダーに、確固たる不戦の靈魂たましいを蘇よみがえらせることが、**日本を救い、世界を救うこと**につながるからです。その重大な使命を秋篠宮家よみがえにお下くだしになられたのです。

戦争で命を落とした総ての殉難者の靈魂みたまの救済のために、世界平和神宮院なすひのみや（世界の戦争において殉難死した全ての御靈魂みたまを集める場所）と**竝宮**として、不戦の魂をお示しになられた昭和天皇の**昭和神宮**を、**日本長やまとたける（武）尊のみこと**が剣を納めた地、愛知県名古屋市緑区大高町日神山・熱田神宮の元宮こんりゆうに建立することが、「二度と

戦争の無い世界への道しるべとなり、日本が昭和天皇の大御意志おおみこころとしての憲法第

九条を護り通していくことが、日本の世界平和への貢献となります。

平成二十六年（二〇一四年）のこの年にあたって、昭和二十年の昭和天皇の大御意志をもう一度蘇らせることが日本の政の使命ではないでしょうか。今、日本国は戦争を国権の発動とする政策をするのではなく、神から下ろされた人類の宝・地球の宝「日本国憲法第九条」昭和天皇の大御意志を護り通し、諸外国から尊敬の念を受ける、精神的指導ができる憲法第九条の国となること、世界平和への道をより確かなものとするようになるのです。

合掌

平成二十六年（二〇一四）二月十四日（金）

三代目東核芒種大伝道師 加古藤市

電話〇八〇・九一五三・九八〇七

以上、講演会の中で神からの御啓示に従い、昭和天皇は與謝身天皇（神が許

し與た天皇）でしたが、今までの資料には、世界昭和神宮院（宗教はみな同じ教えを一つにする）と竝宮として不戦の魂をお示しにられた昭和天皇の昭和神宮を熱田神宮の元宮に今上陛下の御詞を以って国民こそぞって建立し、憲法第九条を護り通して行くことが世界恒久平和への貢献となる事を伝えてきましたが、憲法で発言出来ないお立場を重んじられている天皇では與謝身天皇にはなれない事をお話しました。そのことで質疑応答のときでした。

日の丸行進の会の方から「昭和天皇は新憲法が施行された直後も直後、こともあろうに、一切の政治的機能を持たないとされた「象徴天皇」が憲法九条の掲げる平和主義を否定し、それに代わる「安全保障」の在り方として、米軍による防衛保障をマッカーサーに求めているのである」という資料をもって天皇陛下のことで大変お叱りを受けました。

私加古藤市が御啓示を受けている昭和天皇は、国権の発動を認めない憲法九条を神が降ろされた事しか受けていませんので、不意を突かれた思いをいたしました。

今、思い起こせば平成二年ごろ左右木吉江さまが沖縄県那覇市若狭一・二五・一一波上宮の宮司さんは、米軍が沖縄へ上陸したとき、御神体を抱き海に飛び込んで亡くなった事をお聞きして、「御神体を奉納に行くから一緒にいきましよう。」とお誘いを受け、同行したとき神聖画を持っていきました。その時、沖縄の方々が何名かお集まりになっている所で、神聖画の説明の中で、昭和天皇のことを口にした時、「沖縄では天皇の話は禁句です。」といわれた事、憲法九条を護る共産党の人達は「天皇は要らない」と言われた事を思い出しました。

また、天界で執り行われた昭和天皇の大喪の礼をテレビで映し観せられた画像・神聖画「九条不戦・神々との誓い」の、昭和天皇の大御意志を今上陛下に伝えたい話をする中で、「天皇は憲法で政治への言及が出来ないから無理です。」と、私の伝える御啓示「知瑠恵と御難賛助のころ」憲法第九条そ

のものを伝えて居るのですが、民衆はこの意味の深さを知らうとはせず、個人個人の考えの中でそれぞれが活動し（戦争放棄・原発反対・環境保護・食の安全等）、なかなか「元ひとつ」の真理・命の大切さに目覚めていただけの人達がないのが現状です

その中で有栖川識仁殿下・晴美妃殿下ご夫妻は、平成十五年六月二十七日

と九月十四日の二回私、加古藤市自宅を訪れ、神からの御啓示「知瑠恵と

ごなんさんじよ

ろっこんどうじいはつ せいめいたいこん

御難賛助のころ・六根同時意発の生命帯魂（眼・耳・鼻・舌・身・意が同時に意発す

る魂）を深い魂に入れ、また、私の著書「神佛の顕現・続・神佛の顕現」を読

けんげん

まれ、この事は天皇家にお伝えしたいと言われ、どのように申し込みをされたかは定かではありませんが、「今日黒塗りの車でお迎えがあり、殿下妃殿下と言われ、二重橋を渡り皇宮警察に行つて、愛知県の加古藤市氏がこのように言っていることを話して今帰りました。そちらの方に何か問い合わせがありましたらお願いします。」と言つて電話が入った次の日、詐欺罪で逮捕されて

しまいました。私の力不足で晴美様をお助けする事が出来ず大変申し訳なく  
今も思っています。

又、山本太郎議員は、一人の党で3・11に置いての放射能で苦しむ民衆  
に票を集め当選して、天皇陛下に被災地の現状を報告されたものと私は思っ  
ていますが、自民党を始めマスコミ報道によって民衆を手なづけ、山本太郎  
議員を国会にも出席させないようにしてしまいました。誰も相談する議員仲  
間がない山本太郎議員は、天皇だけでも知っていたら良かったと勇気を持っ  
て行動に移されました。被災地の方々を深く心配されていた天皇陛下も、  
お手紙をお受けされたのです。その証が、後に「山本太郎さんはどうしてい  
るのか」と心配された事が報道されています。

国民は象徴天皇と崇めていても、天皇に民草の苦しさをなぜお伝え出来な  
いのか不思議に思っていました。憲法第一条と第九条は神が降ろした憲法で  
すが、それを基に権力を縛るはずの憲法を、権力が天皇まで都合の良い文章  
に改悪しているのです。

平成二十二年十一月二十九日に参議院本会議場で行われた議会開設一二〇

年記念式典に天皇皇后両陛下と秋篠宮殿下妃殿下をお迎えした時に、議員の  
一人が秋篠宮に対して「早く座れ」という暴言を吐きました。

政治家が天皇家を蔑ろにしている証を神がお見せになられた姿ではない  
でしょうか・・・？

国会も政治家も天皇が国会を開会・閉会宣言し、議員には天皇の代わりと  
なって政をまかされている事を、政治家一人ひとりの魂にはないのです。

## 第五福音丸が被爆

米国ビキニ水爆実験を基に日本の原発導入に

中曽根康弘アメリカの使い走りになり日本の原発導入の役割をする

中曽根康弘 大正七年五月二十七日生まれ、第七十一〜七十三代内閣総理大臣。従六位大勲位。



一九四五（昭和二十年）八月六日・広島原爆投下、九日長崎原爆投下

八月十五日 ポツダム宣言受諾 敗戦

一九四七（昭和二十二年）四月二十五日、中曾根康弘衆議院議員総選挙で初当選

一九五〇（昭和二十五年）六月十二日から八月十五日、中曾根康弘一回目の外遊

一九五四（昭和二十九年）三月一日、米国ビキニ水爆実験で第五福竜丸が被爆

三月二日、中曾根ら改進黨原子炉予算二億三千五百万円提案、野党・科学者マスコミ反発

三月四日、基礎研究調査費として衆議院通過

三月十日、日本学術会議「平和利用」限定で容認

三月十四日、第五福竜丸焼津港帰国

四月二十二日、日本学術会議平和利用3原則条件付き原子力開発決定

五月十一日、原子力利用準備調査会設置閣議決定

十二月二十五日、政府、原子力平和的利用海外調査団派遣

一九五五（昭和三十年）六月二十一日、日米原子力協定仮調印

一九五六（昭和三十一年）一月一日、原子力委員会設置、初代委員長読売新聞社社主・正力松太郎

ビョウカンシヨウ ショウツリヨウ

昭和二十九年三月一日、ビキニ水爆実験で同環礁付近に出漁していた静岡県焼津市の漁船第五福竜丸（99トン）が東方約110キロ離れた実験に遭遇し閃光を目撃した七・八分後爆発音、十分ほどして船体に「死の灰」の被害を受けました。

日本は昭和二十年八月六日広島、九日長崎にアメリカによる原子爆弾の投下の恐ろしさを体験したにもかかわらず、

中曾根康弘は再軍備・自主防衛急進派で潜在的核兵器保有を夢見て、当時のアメリカの世界軍事戦略、国会情勢、それに原発予算直後の第五福竜丸を契機に一気に広がった原水爆禁止の野党・科学者マスコミ反発運動から「軍事利用」の方向と言わず、日本の政治家と推進派科学者の意見を容れて、「平和利用」3原則（造らない、持たない、使わない）基本法に組み込んだ。当時の科学者・革新勢力の「原水爆反対、だからこそ平和利用を」の偽りの原則を短期間でつくり、日本から米国に追従して行ったのです。米国にとっては日本を利用する価値がそこにあつたのです。

中曾根康弘は、一九五四（昭和二十九年）三月原子力予算の背後に米国側の裏工作を見出すことが出来なく、核製造する原子力発電所を経済、外交政策は、常に米国レーガン政権と歩調を合わせ、アメリカの使い走り核武装論者で、若手政治家時代日本の原子力発電の導入に、「原子力は平和のために」のマスコミ報道に乗せ、天皇まで利用し庶民を惑わし、原子力発電所を稼動すれば

日本の経済・外交政策が出来ると思い込み、日本列島に原子力発電所を次々に造って行ったのです。

そして2011・3・11の東日本大震災で事故を起こし、未だに放射能の後始末が出来なくなっているも、中曽根康弘と同じ考えを持つ安倍首相政権は経済優先といって原子力発電所を再稼動し、外国へ核を輸出すると暴走しています。

また中曽根康弘が首相のとき、岐阜県揖斐郡揖斐川町の議員が「さざれ石」発祥の地を申請したところ、重機を使い大きな「さざれ石の巖」を切り刻み全国に配られたのですが、「さざれ石」の本当の意味を理解していれば、米国へ追従する行動はされなかったのではないのでしょうか……。

君が代の詩の作者は惟高親王に仕えた

藤原朝臣石位左衛門さまでございませう。

第五十五代文徳天皇と女官紀静子さまとの間に第一皇子として惟高親王が誕生され、次期天皇になられるお立場でございませうが、文徳天皇と皇后明子さまとの間に惟仁親王が誕生され、清和天皇として御即位されました。

惟高親王は、現在の滋賀県君ヶ畑に幽棲され、現在の標高七百メートル以上の山の木材を木地椀の良材として採集する事を清和天皇から許され、蔵皇山金龍寺他二ヶ寺を創建して、仏教に帰依され、金龍寺にお住まいになり、独自でロクロ機を考案されて、お椀を製作して村の潤いとされ、村人達から

高松の御所と崇められ、惟高親王の御仁徳と村人から慕われていました。

惟高親王にお仕いになられていた藤原朝臣石位左衛門さまは岐阜県揖斐

郡揖斐川町春日小宮神にお住まいになり、一年に一・二度高松の御所に赴き、惟高親王に御挨拶に出掛けられました。

ある日いつものように伊吹山の麓ふもとを通り高松御所に向かう途中、以前あった石が大きくなつていく、その石に触さわつたら粘着力があることに気付き、その後もいつも其の石が大きくなつていく姿を観察して通られました。

藤原朝臣石位左衛門さまは、自分が仕えた惟高親王の想いをそのまま【我が君は 千代に八千代に さざれ石の 巖をとなりて 苔のむすまで】と詠まれ、局選集を編纂する為に選ばれていました。二度落選しました。三度目に【君が代】と訂正されて「詠み人知らず」として、日本の国歌に選出されたのでございます。

藤原朝臣石位左衛門を詩人と認めれば、惟高親王個人の小さな想いになつてしまい、名前を出さない事で、日ノ本の国の国歌として生命界地球・全世界の弥栄いやさかと平和を希こいねがわれた目出たい歌でございます。

藤原朝臣石位左衛門さまは「下り藤」の紋の家柄。今現在、岐阜県揖斐郡

揖斐川町春日小宮神に約二十軒が住み暮らし、年毎に交代して藤原朝臣石位左衛門のお墓さえもんをお守りしておられます。

## 明治天皇の玄孫・竹田恒泰さまとの出会い

二〇一〇（平成二十二年）十二月十日、十二月二十三日今上陛下きんじょうへいかの誕生日に、竹田研究会竹田恒泰さまが靖国神社参拝と特別講演があるというメールをみて、天皇家の関係の方ならば、何か今上陛下きんじょうに届ける事が出来る方のように想い、早速さっそく、東京の担当者、田中太郎さまに連絡しましたら、名古屋駅から竹田研究会が仕立てた日帰りバスが出る事を知り、水野延子さんが申し込んで参加していただきました。その報告によりますと、

当日、東京に向うバスの中で、竹田恒泰さまの活動されているDVDを観賞しました。その天皇家の事を著書にして賞を戴いたこと等の内容でした。

竹田恒泰さまは始めてお会いする方ですが、天皇家を称えられておられ方と想い、靖国神社合同参拝と特別講演の後、次の資料

### 日本の立て直しの活動はたのぎ氣

「日本国憲法第一条と第九条は日本国の柱である」

象徴天皇の天皇・皇后両陛下を始め皇太子両殿下・秋篠宮両殿下など、小学生に話しても

「それは何？」という子供が多い。

天皇家の菊の御紋・日の丸の旗・君が代の国歌が解らなくなっていて、

日本は何処に向っているのか？

武器を持って解決が出来ない事を、広島・長崎の原爆で体験した日本国が、アメリカに追従し、

「アメリカの真似をする」

この日本国の柱が凍りんと立っていないので、政治家をはじめマスコミ情報が国民を迷路に導いて

の御啓示でございます。

畏

平成二十二年十二月三日

三代目

東核芒種大伝道師

加古藤市

愛知県大府市明成町一丁目一七五

これを水野延子さんから名刺代わりにお渡ししてもらい、竹田恒泰さまの名刺を戴いてきました。田中太郎さまにも直接お会いし、同じように資料をお渡しして急いでバスに乗り名古屋に帰ってきました。

この日は神仕組みの中で竹田恒泰さまのご縁を戴いた報告を受け、帰りのバスの中で竹田研究会に入会していただきました。

愛知県竹田研究会は二〇一一（平成二十三年）一月十六日、アパホテル名古屋錦で特別講座【君が代】に参加し、竹田恒泰さまに神聖画・私の著書数冊と資料をお渡しする予定をしていました。東京の田中太郎さまからも、名古屋から東京まで来ていたのでお礼のために参加すると連絡がありましたので、二組用意して出掛けました。当日は朝から雪が降り、昼頃には名古屋の街も雪景色に変わり冷えた日でした。

午前中にホテルに入り、竹田恒泰さまが昼食に喫茶店へ入って来られ、食事を終えたのを見計らって、言葉を掛け神聖画を少し説明して事務所宛に宅配で送らせていただきました。田中太郎さまも少し遅れて雪の中会場に来られましたので、同じように少し説明をして東京の田中太郎さまの会社宛に送らせていただきました。

田中太郎さまは宅配で届いた神聖画や資料・著書などを読まれ、「伊勢の神は素晴らしいですね」と水野延子さんの携帯に報告をお受けしました。

二月の愛知県竹田研究会は二月二十七日でしたので、あらかじめ竹田研究会の事務所宛に【明治天皇の玄孫<sup>やしん</sup> 竹田恒泰さまを中心とした竹田研究会】を、豊受界の方々に紹介した文章を研究会事務所にも送りました。当日、アパホテル名古屋錦の会場にて、秘書が水野延子さんを会場の後ろに呼び、「こんな資料が届きましたが、これは破ります。」と言って目の前で破いてしまいました。その内容は

「新しい歴史教科書をつくる会」は、竹田研究会で執筆した歴史を、教科書改善する運動に進めていく会です。また、前航空幕僚長・田母神敏雄さまも頑張れ日本！の会長として参加されています。

皇室に関係されていらつしやいます竹田研究会には、権力派の方も、庶民派の方もお集まりになられ、竹田恒泰さまの講演会に参加されています。

竹田恒泰さまは、中道を説かれるお方ですので、権力派の方にも、庶民派の方にも解りやすく説いて下さる事と信じています。

#### 素朴の疑問

##### 日本国憲法第一条

君が代は 千代に八千代に さされ石の 巖となりて 苔のむすまで

##### 日本国憲法第九条

二度と戦争はしない神との誓い

それなのに自衛隊の名の本に軍備基地を持つこと  
いかがなものでしょう。

建国記念日に橿原神宮へ軍服姿の人が集合する事。

おかしいとおもいませんか？

#### 核について

核を原子力発電所で使用すれば、放射能の後始末をする開発が出来ていない限り、止めどもなく生命界地球は放射能で汚染されてしまいます。

#### 中部電力会社は

「原子力発電所は必要である」とラレヒニターシヨハの中で 国に討てられかたてて

今上陛下は

平成十九年六月初めと、二十二年秋ごろの二回、「核は平和に使って下さい」と御詞を述べられた記者会見の姿をテレビ放映されました。

以上、憲法九条を守る会、原子力発電所反対、地球環境問題など、活動されていらっしゃる方々、竹田研究会に入会して権力派の方たちに疑問を問いかけて、皆さんで知瑠恵しるめぐみで研究していただきたいと思っています。

二〇二一（平成三十三年）二月二十七日

拝

三代目 東核世種大伝道師 加古藤市

以上、この資料を竹田研究会にお誘いしてみんなで説いていただきたい思  
いでしたが、秘書の手で当日破かれた、**その三月十一日、東日本大震災**が起  
きてしまった事をどう解釈されますか・・・？

政府は未だに放射能の後始末ができないのに、「命の大切さ」より「経済優  
先」と言い原子力発電所を再稼動して、核を海外へ輸出するという。何処ま  
で狂ってしまったのか。止めようがなくなってしまっているのです。

又、全国竹田研究会特別講演にて「我が国の未来を左右する大問題」と題し  
て参議院会館の議院室で執とり行われる予定を聞いて、当日、水野延子さんに  
私の書いた資料「我が国の未来を左右する大問題」を数冊もって代理で参加

していただいたとき、「天皇は元首・自衛隊は自衛軍」という私が御啓示を受  
けている事と正反対の講演を聞いて報告していただきました。資料は次の文  
章です。

## 我が国の未来を

### 左右する大問題

日本国憲法第一条と第九条は

人間の生きていく普遍性ふへんせい・生命界の共通の倫理みちであり改正は認められない  
のです。

日本国憲法

第一条【天皇の地位・国民の主権】天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合  
の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基づく。

第九条【戦争の放棄、軍備及び交戦権の否認】

①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発  
動たる戦争と、武力による威嚇又は武力行使は、国際紛争を解決する手段  
としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達成するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

### 自民党改憲原案

自民党の憲法改正推進本部が天皇を「日本国の元首」と明記し、自衛隊を「自衛軍」として、戦争の出来る国とする憲法改正原案をまとめた。サンフランシスコ講和条約発効から60周年の4月28日まで公表する。

戦後産まれた日本の民衆は、天皇はいてもいなくても関係ない。日本の象徴だから・・・と、言う数多あまたな人達があります。又、マスコミもこれに輪を掛け導いてしまう。このことが自民党の改憲原案となったのではないでしょうか。農林漁業そして商店街は、自民党を選ぶ党ではないのに、自民党に組み込まされ、大きな権力をより大きな権力に育て上げ、永い間牛耳ぎゅうじってきた自民党に、神佛が**民主党へ政権交代**をさせたことの反省もなく、天皇のお立場も、日本国の歴史も、国旗「日の丸」も、国歌「君が代」も解わからなく、ただ、

自民党の権力の再政権を勝ち取るために、憲法を改正して自分たちの権力を固持こじしていく原案をこの度まとめたのです。

天皇とは、天の皇すべりみすなわち、天命てんめいをお祀りまつりされているお家柄いへがらです。天皇家を中心に分家の皇族の皆さまは、神との約束「御難ごなん賛助さんじよの御誓約うけひ」に従い、神から人間にだけ与えられた知しる瑠るめ恵ぐみの大御意志おおみごころを以って、世界中の人達の福祉しあわ・志合しあわせを、日々願っておられるのです。天皇家をお支えしていく分家の皇族の方々を菊の十八辨べんで現あらわされて、天皇家の菊の御紋ごもんとして遺のこされています。

日本政府は、天皇に任命を受けて、天皇に代わり国の政まつりごとを任され、総理大臣を初め政治家の活動が出来るのです。権威を利用して権力の意ままに政まつりごとをするのは、**生命界の滅び**にしかつながらないのです。

日本国とは、日ノ本の国、即ち、日本から全ての生命が全世界に拡ひろがっている

った初めの国の歴史を伝えているのでございます。ゆえに、神の国であり、伊勢生成の神をお祀りして、伊勢神宮にはカゴメマークの御神紋が遺されていきます。

## 日の丸の旗

太陽を中心として無色透明の光の世界を白地で現し、生命の植物・動物・人間が生かされている旗印です。

何度でも、何べんでも、知る事が出来る知瑠恵をいただいて生産れきた人間が、いつでも、その知瑠恵を重ね合わせ適うことが出来るのが、私たち人間の幸せになる姿でございます。

君が代とは、日ノ本の国歌は、君を全ての生き物の御世と説くのです。この生命界で食べて食べられ、産まれて生む世界の事を謳っているのだから、この世界には争い戦いのない自然界を、人間が知恵に惑わされるこ

となく、知瑠恵に徹し切る事しかないので。この事を日本の政治家はよく知らねば、日本だけでなくこの生命界地球の滅亡に関わるときが来ている事を悟らなければ成らないのです。

畏

二〇二二(平成三十四年)三月七日(水)

三代目 東核芒種大伝道師 加古藤市

以上、一時は竹田恒泰さまに次の詩で託し、

民魂の意志みちびく 彦根に

若(竹田恒泰さま)の御霊魂 託すなりけり

一年間竹田研究会の会員になり、愛知県武豊商工会議所にて特別講演があった時、明治天皇がこの武豊で、陸海軍合同演習をした場所があり、それを見学されて「このような演習は良くない」と天皇が目覚められたことを書せていただいた資料などをお渡ししましたが、参議院会館特別講演後に竹田研



究会から離はなれました

今はテレビを通して竹田恒泰さまを拝聴していますが、隣国の悪口を天皇家が語っているかのように受け取ってしまいます。これでは天皇家の苦しみを倍増ばいぞうされているのです。

「日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか」「皇室へのソボクなギモン」等、天皇の著書を何冊か書いておられる方が、今上陛下きんじょうに背そむき、自民党の宣伝マンになって日本列島各地域に拠点をもち、民衆を導いてしまった大きな責任に目覚めるべきお立場にあるのです。

昭和天皇メッセージに従い、天皇を元首に自衛隊を自衛軍にして日の丸・君が代を称え、「隣国が攻めてきたらどうする」と九条の②項を国権の発動に替え、戦争の出来る国に安倍政権が暴走して行くとしたら、日本の方向が違たがえているのではないでしょうか・・・？この方向を正しく導いて行くのが明治天皇の玄孫やしきいの役目があることに目覚めて下さい。

## 明治神宮と靖国神社の建物の大差

明治天皇は素晴らしいと竹田恒泰さまも日本の歴史を語っていますが、孝

おおむろとらのすけ

明天皇と皇子を暗殺し、海賊に大室寅之助が仕立てられた天皇であり、権力の意のままにされ、お子も女性が沢山生まれ、愛知県の武豊で行われた陸海軍の演習を見学に行かれたとき、「これではいけない」という魂になり、その日、半田の古扇楼の料亭でお食事を用意され、その接待をされた娘さんを皇居にお呼びになり、お生まれになられたのが、大正天皇・昭和天皇・秩父宮・高松宮が授けられました。

権力を象徴する明治神宮は、大きな境内に松を植え立派こんりゆうに建立けんりゆうされていますが、靖国神社は権力に使われ国のために殉難死された御靈魂みたまところ処ところです。境内は真中を大きな道路が横切り、建物も明治神宮に比較出来ないみすばらしい神社です。この神社だけでも格差の大きさを民衆は気付かなければならないのです。

## 天皇陛下と皇太子殿下の誕生日の御詞

おことば

昭和天皇メッセージは有ったかもしれませんが、昭和天皇は戦後の混乱の時、アメリカへ頼ったことは間違いないと思いますが、国民への想いはもつと深い所に有ったのではないでしょうか・・・？

勝手に天皇陛下の御詞を捻くれた解釈をして利用する政府は「戦争はしない」と言いながら、昭和天皇メッセージを元に武器を大量に用意して、日米安全保障の名の下に、日米合同演習を日本列島の基地でしている事は神が降ろした憲法第一条と第九条を無視して暴走しているのです。

徳仁親王は二月二十三日、五十四歳の誕生日を迎えるに当たって安倍晋三首相が平和憲法の改正を推進していることと相反する動きを示されました。

記者会見で「日本は戦後、憲法を基礎として平和と繁栄を享有してきました。

憲法は遵守しなければならない」と強調されました。

今上天皇も昨年十二月二十三日の記者会見で日本が起した太平洋戦争に対する所感を明らかにし「戦後、連合軍の占領下にあった日本は、平和と民衆主義を守るべき大切なものとして、日本国憲法を作り、様々な改革を行って、今日の日本を築いた」を強調され、平和と民主主義を日本再建の礎になつたという点で言及し平和憲法の意味を再確認したものでした。天皇は続けて「戦争で荒廃した国土を立て直し、かつ、改善して行くために当時の知日派の米国人の協力も忘れてはならない」と言われました。

天皇は会見で「八十年の道のりを振り返って特に印象に残っている出来事は何か」との質問に、「先の戦争」と答えられました。天皇は「戦争による日本人の犠牲者は約三百万人と言われる。様々な夢を持って生きていく多くの人々が、若くして命を失ったことを思うと、本当に痛ましい限り」と申され、また、「私が学齢に達した時には中国との戦争が始まっており、その翌年の十二月八日から、中国のほかに新たに米国、英国、オランダとの戦争が始まった。

「終戦を迎えたのは小学校の最後の年」と回顧かいこされました。

天皇は父親の昭和天皇に次いで歴代二番目に在任中八十歳を迎える事になり、また歴代天皇の長寿順位では四番目です。それでも天皇は「できる限り役割を果たしていきたい」と公務に意欲を見せられました。

傘寿を迎えた明仁天皇と就任一年を迎えた安倍晋三首相が「戦争と軍隊保有禁止」などを規定した日本の憲法に対し異なる方向の言及をしたのです。

天皇と皇太子が相次いで憲法の遵守を強調した事は、安倍首相による憲法改正の動きに対し不満をあらわしたものと解釈できます。

安倍首相は「現行憲法は米軍の占領下で強要によって制定された」とし、戦争や軍隊の保有の禁止を定めた憲法第九条の改正を推進すいしんしている。与党・自民党は今年一般国民を対象に、憲法改正に付いて説明会を全国に行う方針だ。現行憲法は天皇を「国家の象徴」と定めているが、自民党の憲法改正案は「国家元首」として、日本政府は天皇家に背いています。海外では安倍首相より「天皇家を重視」しています。

憲法に対する天皇の認識は二十六日で就任一年を迎える安倍首相とは違いますが大きくみられます。二十二日NHKの番組に出演した安倍首相は、憲法改正問題に対する質問に「私のライフワーク」と答え、憲法改正が【一生の課題】という意味で、安倍首相は【私が何のために政治家になったのか】と反問し、時期衆議院選挙までの三年の任期に【何としてもやり遂げたい】と述べ、【この期間、日本を正しい方向に導くためにも落ちついて政治家が仕事をしていかなければいけない】とし、【急がないと】という前提を付け加えたが、改憲に向け隠す事が出来ない意欲を改めて公開的に表したものと日本メディアは報道しました。安倍首相は一度立ち止まり自分の行動に反省する必要があることに目覚めてください。

## 東京都知事選挙

二月九日の東京都知事選に出馬した元首相細川護熙もりひろと応援した元首相小泉純一郎の二人は、自民党で推し進めてきた原子力発電所を反省して、脱原発うったを訴えて選挙をしましたが、後一步の票が自民党と連立を組む公明党の票により敗退してしまいました。

●正しい仏法を求めている心ある公明党・創価学会員の諸君は、日本占領計画をやめさせてください。日本国民は一致団結して、創価学会の野望を阻止しましょう。

## 天皇家の発言出来ない苦しみ

神に夢で見せられ書かせていただいた夢幻物語伊吹山の女神と「円空の生立ち」の印刷を、サンメッセ株式会社注文したとき、天皇家の発言が出来ない苦しみを平成五年十月二十日の発行としていただきました。当然書籍は当日には間に合いませんでした。その日美智子皇后さまは言葉が突然でなくなつたのです。又、雅子皇太子妃も、そのお子愛子様も患いを掲げているのは、天皇家の深い奥の原因があるのです。そのことを国民は解ろうとしないのです。

天皇が安倍首相と異なるニュアンスの言及をしたことは、天皇家が憲法に縛られ言葉が発言できなくなっている事に、天皇の代理を司る政治家が目覚め、

神との約束「知瑠恵と御難賛助の御誓約」の倫理へ、方向転換をしなければ何時までもたつても世界恒久平和を迎える事が出来ないのです。

今こそ真の世界恒久平和の至誠「憲法第九条の戦争を国権の発動と認めない」知瑠恵の憲法第九条（原子力発電所廃止も入る）に従い、日本長尊が民草和氣の剣を納められた熱田神宮の元宮、名古屋市緑区大高町日神山に、天皇も総理も大臣も、世界の大統領も国王も全世界の人たちが参拝できる祈願所として、国立をもつて世界神社を建立する事により、真の世界恒久平和が実現される刻であると御啓示を戴いております。

平成天皇は、昨年のお誕生日のメツツセージに「できる限り役割を果たしていききたい」との御詞に従い、昭和天皇の日本国憲法第九条を「遵守する」ための大役を、神の大御意志に従い、世界恒久平和への導きをされる事を、神は今か今かとお待ちになられておられます。

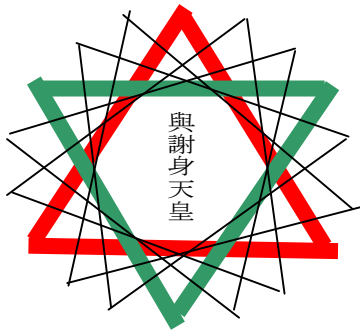
拝

※世界神社とは、全世界の戦争殉難死されたすべての御靈魂みたま（過去から現在まで）、全世界の戦争で亡くなられた全ての御靈魂）をお祀り申し上げる「世界平和神宮院ならびのみや（すべての宗教を一つにする）」と竝みな宮として戦争を国権の発動と認めない御魂たましいの生み親・昭和天皇の御靈魂をお迎えする「昭和神宮」を平成天皇陛下おごとはもとの御詞の下に国民が一丸となつて建立こんりゆうする事です。

## 御尊称【天照皇大御神】

あまてらすすめらのおおみかみ

## 天皇家を擁護する聴区きくの御紋



六芒星ろくぼうせいが三回（天界・迂迴界うがかい・地上界）「回転」すると、天皇を中心にして分家十八家が補佐する十八辨べんの菊の御紋になります。

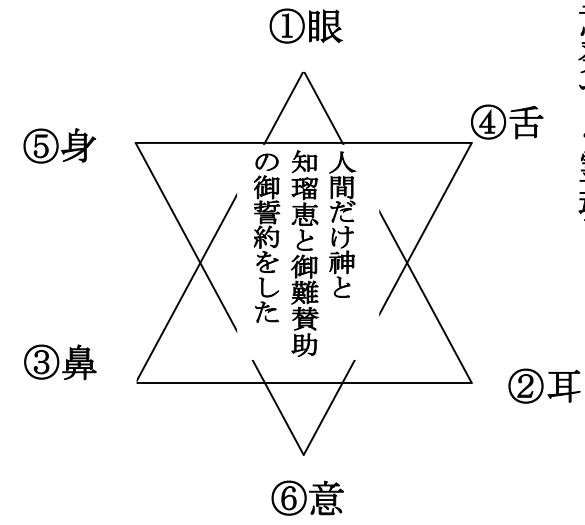
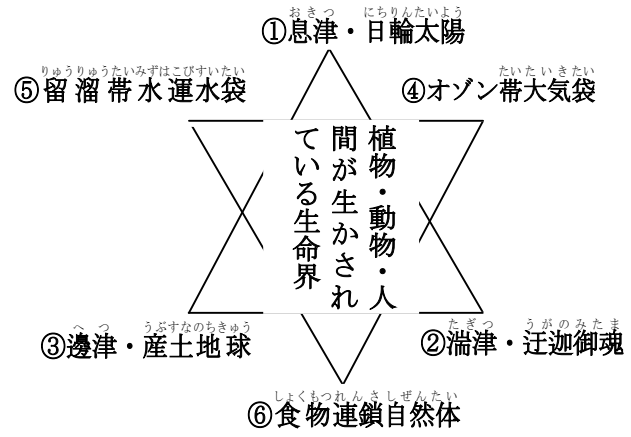
天皇と十八家の分家の十九家の人たちの事を「国常立尊くにこたえのみこと」といいます。

お祝いに三・三・九度の盃をしたり万歳三唱をすることも自然界に生かされている感謝を現しています。

神佛を拝するときも参拝なのです。神社は生まれて来る時の参道です。

お寺は死に逝く時の参道です。

眼・耳・鼻・舌・身・意が同時に意発する靈魂  
**勾玉**  
 迦護目の御神紋



**鏡**

**劍**

人間が神と約束した「知瑠恵と御難賛助の御誓約」の姿を  
 写し観るのが鏡です

約七百二十万年前 天上界で人間だけが地上に降ろされる時、知瑠恵と

約四千二百年前 天上界から降ろされた時の御誓約が乱れてしまいました。

当時、イザナギ家の当主アマテルカミ尊は、天橋立・真名井原丹庭の「鵺  
 鶺鴒」の上に皇親（植物・動物のすべてのメス親）カムロミ命と人祖（人間の女

親）イザナミ命のお二人がお立ちになり、「唯一神明の神の御大詔」を謹  
 んでお受けされ、「天照皇大御神」をお祀りされました。

のみこと

西の国を長男・アマテルカミ尊、東の国・弟ハヤスサノオ尊のみことがそれ

かなぶやま

ぞれに統治していましたが、ハヤスサノオ尊が岐阜県大垣赤坂の金産山の鉄鉱石を使い武器を造り始めました。

のみこと

北伊勢の国、多度の小山の頂でサルタヒコ尊を仲立ちとされ、アマテ

あめのまひとつのみこと

ルカミ尊が「天目一個命」をお祀りし、日ノ本の統一国家建設の為、改

しるめぐみ

ごなんさんじよ

うけひ

だいじょうしんぎさい

めて知瑠恵と御難賛助の御誓約の更新・大嘗神祇祭をしました。

のみこと

のみこと

くにとこたちののみこと

その後アマテルカミ尊とハヤスサノオ尊他十七名の国常立尊によ

まな いじんじや

り、天橋立・真名井神社にお祀りした「天照皇大御神」を三重県伊勢の地に

お移り頂き「伊勢神宮」を御造営され、伊勢の神を大陸に伝える為、道主貴

むなかたじんじや

つか

みちぬしむち

を九州の宗像神社に遣わせ、大陸の途中で釈尊により佛教、最果ての地ユダヤ(イスラエル)の地モーゼによりキリスト教として伝わりました。

現在、天上界から人間が降ろされる時の御誓約が又乱れ、改めて【知瑠

めぐみ

ごなんさんじよ

うけひ

うけひ

みだ

改めて

しる

恵と御難賛助の御誓約の国である】と加古藤市は、昭和天皇の大喪の礼を

み

NHK総合テレビでお見送りした時、その情景を映像で写し観せ説明を頂き、それから今日まで天皇家にお伝えするお役目に専念してまいりました。

おことば

いよいよその時が到来してきました。平成天皇の御詞を以ってお出まし

やまとたけるのみこと

つるぎ

になられ、国民と共に日本長尊が剣を納められた熱田神宮の元宮に世

しるめぐみ

ごなんさんじよ

うけひ

こうしん

界平和神宮院を御造営になり、【知瑠恵と御難賛助の御誓約】の更新をされ、日本から世界恒久平和へお導きをされる事を切に希望いたしております。

かしこ

畏

平成二十六年三月二十一日（春分の日）

とうかくほうしゆだいでんどうし

三代目 東核芒種大伝道師

か こ ふじ いち  
加古藤市

〒四七四・〇〇五六 愛知県大府市明成町一丁目一七五

TEL 〇八〇・九一五三・九八〇七